

第4回 徳島県小学校外国語教育研究大会

コミュニケーションを図る素地及び基礎となる 資質・能力を培う小学校外国語教育

～ 豊かにかかわり 伝え合い 学び合う 学習の創造 ～

鳴門市板東小学校

- 1 はじめに
- 2 研究の概要
- 3 取組の実際
 - ◇ 授業の創造
 - ◇ 評価の創造
 - ◇ 学びの充実に向けた取組
- 4 成果と課題

1 はじめに



児童数 258名
学級数 15学級
(特別支援学級4学級)



- 素直で明るく、友達と仲よく活動している。
- 真面目で意欲的に学習に取り組む。
- 自分の思いや考えを自分の言葉で表現することに苦手意識をもっている。

2 研究の概要

- (1) 研究主題
- (2) 研究の内容

(1) 研究主題

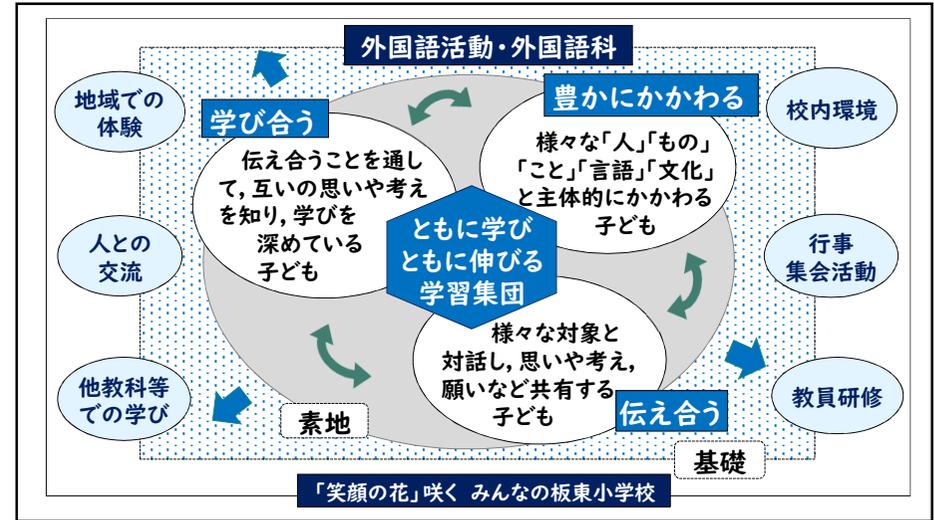
研究主題

コミュニケーションを図る素地及び基礎となる
資質・能力を培う小学校外国語教育
～豊かにかかわり 伝え合い 学び合う 学習の創造～



《研究仮説》

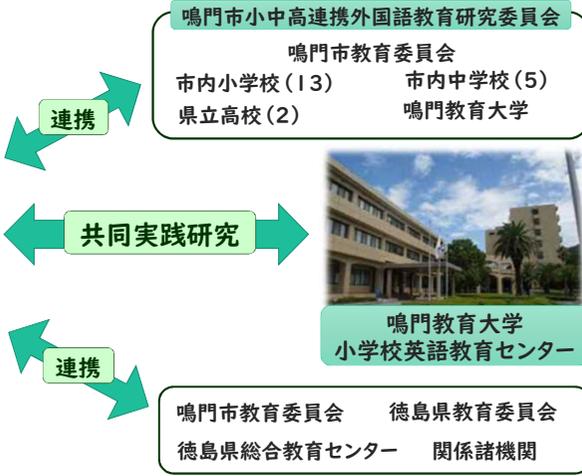
児童が豊かにかかわり、伝え合い、学び合う授業を創造し、指導と一体化した評価を行うことにより、コミュニケーションを図る素地及び基礎となる資質・能力が培われるだろう。



研究推進体制



板東小学校



(2) 研究の内容 ～豊かにかかわり 伝え合い 学び合う 学習の創造～

研究内容1 授業の創造



- 授業設計
- 教材・教具の工夫

研究内容2 評価の創造



- 評価方法
- 評価計画

指導と評価の一体化

学びの充実に向けた取組

- ・ 体験の場の設定
- ・ 低学年での取組
- ・ 小中連携
- ・ 校内環境の整備
- ・ 職員研修

3 取組の実際

- ◇ 授業の創造
- ◇ 評価の創造
- ◇ 学びの充実に向けた取組

3 取組の実際 ~豊かにかかわり 伝え合い 学び合う 学習の創造~

研究内容1 授業の創造



- 授業設計
- 教材・教具の工夫

研究内容2 評価の創造



- 評価方法
- 評価計画

指導と評価の一体化

学びの充実に向けた取組

- ・ 体験の場の設定
- ・ 低学年での取組
- ・ 小中連携
- ・ 校内環境の整備
- ・ 職員研修

3 取組の実際 ~豊かにかかわり 伝え合い 学び合う 学習の創造~

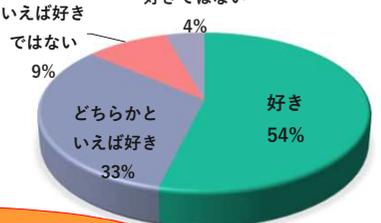
研究内容1 授業の創造



- 授業設計
- 教材・教具の工夫

目指す授業の在り方や児童の姿を共有

外国語の授業は好きですか。



回答	割合
好き	54%
どちらかといえば好き	33%
好きではない	4%
どちらかといえば好きではない	9%

児童の興味・関心や発達段階に応じた系統的な指導

研究内容1 授業の創造

(I) 授業設計

- ① ゴールの明確化
- ② 他教科等との関連
- ③ 言語活動の充実



(1) 授業設計

① ゴールの明確化

- ・単元終末でめざす児童の姿、ゴールを明確にする
- ・バックワードデザインによる授業設計



3年 Unit7
This is for you.
ありがとうをつたえよう

(1) 授業設計

① ゴールの明確化

指導者が毎時間の授業やそれぞれの活動の目的を明確に

児童が活動の意味を把握し、ゴールに向かって意欲的・主体的に取り組む

3年 Unit7 This is for you.
ありがとうをつたえよう

時	目標 (※) 主な活動 (◎)	評価	評価方法 (◎)
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本語と英語の音の似ているところを、自分や、身の回りの物を見たり聞いたりして、英語の音と対照して知ることが出来る。 ◎ ポインティングゲーム ◎ 先生や友達と英語で話せる。 ◎ English Worksheet 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 先生や友達と英語で話せる。 ◎ English Worksheet 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ポインティングゲーム ◎ English Worksheet
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語の音と日本語の音の似ているところを、自分や、身の回りの物を見たり聞いたりして、英語の音と対照して知ることが出来る。 ◎ English Worksheet 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 先生や友達と英語で話せる。 ◎ English Worksheet 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ English Worksheet
3	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語の音と日本語の音の似ているところを、自分や、身の回りの物を見たり聞いたりして、英語の音と対照して知ることが出来る。 ◎ English Worksheet 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 先生や友達と英語で話せる。 ◎ English Worksheet 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ English Worksheet
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語の音と日本語の音の似ているところを、自分や、身の回りの物を見たり聞いたりして、英語の音と対照して知ることが出来る。 ◎ English Worksheet 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 先生や友達と英語で話せる。 ◎ English Worksheet 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ English Worksheet
5	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語の音と日本語の音の似ているところを、自分や、身の回りの物を見たり聞いたりして、英語の音と対照して知ることが出来る。 ◎ English Worksheet 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 先生や友達と英語で話せる。 ◎ English Worksheet 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ English Worksheet

バックワードデザインによる授業設計

ありがとうカードを作るために、欲しいものを探ったり答えたりして伝え合う

(1) 授業設計

② 他教科等との関連

- ・他教科等での学習や行事、集会活動、地域との交流・体験で得た学びを生かす
- ・外国語の授業で得た学びを、他教科等の学習に生かす



5年 Lesson9
I love my town.
板東のステキを伝えよう



「靈山寺」でのお接待体験

(1) 授業設計

② 他教科等との関連

国際親善室での企画展



5年 Lesson9 I love my town.
板東のステキを伝えよう

総合的な学習の時間
「伝えよう Bandoの心」



板東マップ

お遍路さんへのお接待
手作りのマスクケース

ニュージーランドとの交流



ニュージーランドの人たちと話せてすごく楽しかったです。もっと交流したいし、私もニュージーランドに行ってお話したり、いっしょに「ネットボール」をしたりしてみたいです。【板東小児童の感想】

豊かに
かかわる



It was really fun to talk to such nice people from across the world.

【ニュージーランドの生徒の感想】

(I) 授業設計

③ 言語活動の充実

～使いながら学ぶ 学びながら使う～

- ・児童の実態に合った題材の選定
- ・多様な形態や場の設定
- ・本物のコミュニケーション
必然性の重視
(相手意識・目的意識)

(I) 授業設計 ③ 言語活動の充実 ～使いながら学ぶ 学びながら使う～

4年 Unit3 I like Mondays.
好きな曜日を伝え合おう



What day
do you like?

(I) 授業設計 ③ 言語活動の充実 ～使いながら学ぶ 学びながら使う～

4年 Unit3
I like Mondays.
好きな曜日を
伝え合おう



国語科で
作成した新聞

(1) 授業設計 ③ 言語活動の充実 ~使いながら学ぶ 学びながら使う~

これまでの外国語活動(高学年)単元の構成例<3~5時間>

第1時	第2時	第3時	第4時
<ul style="list-style-type: none"> ・言語や文化への気づき ・新しい表現を知る ・聞いて慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き慣れる ・言い慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・使ってみる 疑似コミュニケーション コミュニケーション	本物のコミュニケーション
外国語への慣れ親しみ 言語や文化に関する気づき			
キーワードゲーム ポインティングゲーム カルタ など	チャンツ カード並べゲーム ビンゴゲーム ステレオゲーム など	ラッキーカードゲーム インタビューゲーム	インタビュー 発表 など

(1) 授業設計 ③ 言語活動の充実 ~使いながら学ぶ 学びながら使う~

外国語科(高学年)単元の構成例<6~8時間>

第1~2時	第3~4時	第5~6時	第7~8時
Small Talk			
新しい表現を知る			
ゲーム・チャンツ・表現を聞いたり話したりする			
新しい表現を使って話してみる			
互いのことを伝え合ったり,自分のことを話したりする			
使いながら学ぶ 学びながら使う			

(1) 授業設計 ③ 言語活動の充実 ~使いながら学ぶ 学びながら使う~

言語活動の場面を多く設定した1時間のレッスンプラン
(6年 Lesson3 Where do you want to go? 第3時)

- 【Small Talk】 既習表現を使いながら「好きな教科」について友達と会話をする。
- HRTとALTの「行きたい国とその理由」について話を聞いたり,聞かれたことに答えたりする。
- 【ワールドすごろく】止まったマス目の国で,食べたいものや見たいものを言う。
- 新しく知った表現を使って,ペアで話してみる。

(1) 授業設計

Let's enjoy communication!
~使って,話して,つながろう~

ひとこと感想

Great. Cool!
Wonderful! I see.
That's nice.
Me too. Really?

たしかめ
くり返す Pardon?
Once more, please.

聞いてみよう

Do you like ~?
What ~ do you like?
How about you?
Do you know ~?
Do you have ~?
Can you ~?

もっと聞いてみよう

Why? How many?
Where? When?
With who? How was it?

(1) 授業設計 ③ 言語活動の充実 ~使いながら学ぶ 学びながら使う~

コミュニケーションカード

学びのあしあとを残そう

心を決めて
Great.
Wonderful!
Cool.
I see.
That's nice.
Me too.
Really?
Sounds good!
Sounds fun!
くり返す (Ok, -)
Pardon?
Once more, please.

Do you like ~?
What ~ do you like?
How about you?
Do you know ~?
Do you have ~?
Can you ~?
Why?
How many?
Where? (どこ?)
When? (いつ?)
With who? (誰と?)
How was it? (どうでした?)

研究内容1 授業の創造

(2) 教材・教具の工夫

- ① 児童の興味・関心に合った教材や教具
- ② ICTの効果的な活用



3 取組の実際 ~豊かにかかわり 伝え合い 学び合う 学習の創造~

研究内容1 授業の創造

研究内容2 評価の創造

指導と評価の一体化

- 授業設計
- 教材・教具の工夫
- 評価方法
- 評価計画

学びの充実に向けた取組

- ・ 体験の場の設定
- ・ 低学年での取組
- ・ 小中連携
- ・ 校内環境の整備
- ・ 職員研修

研究内容2 評価の創造

(1) 評価の捉え方

本校における評価の基本的な方向性

- 子どもの学習改善につながるものに
- 教師の指導改善につながるものに
- 妥当性・公平性の確保

- 自分に自信をもつ
- 成長や課題に気づく
- 学びへの意欲

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会
「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)」参照

研究内容2 評価の創造

(1) 評価の捉え方

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解している。 読むこと、書くことに慣れ親しんでいる。 外国語の音声や文字、語彙表現、文構造、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、音声で十分慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。



中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会「児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)」参照

(2) 評価方法

指導者による評価

- ◇ 行動観察
- ◇ ワークシート等の作品分析
- ◇ 振り返りシート
- ◇ ペーパーテスト
- ◇ パフォーマンステスト

児童による評価

- ◇ 振り返りシート
 - ・ 毎時間の授業
 - ・ パフォーマンステスト
 - ・ ペーパーテスト
- ◇ コミュニケーションカード
- ◇ カラーサイン
- ◇ 相互評価

(3) 評価計画

① 年間の評価計画

令和2年度 外国語科年間評価計画(6年)

【令和2年度 外国語 年間評価計画(6年)】 ◎記録に残す評価 ○目標に合わせて評価を行うが記録に残す評価は行わない

板東小学校 6年	1学期										2学期									
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	P1	パフォーマンステスト	パフォーマンステスト	総括	L7	L8	L9	L10	L11	P2	パフォーマンステスト	パフォーマンステスト	総括	
聞くこと	知・技	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎		◎	◎	◎	◎
読むこと	知・技						◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎		◎	◎	◎	◎
話すこと(やり取り)	知・技	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎		◎	◎	◎	◎
書くこと	知・技	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎		◎	◎	◎	◎
書くこと	知・技																			

1年間を通して計画的に5領域、3観点を評価する

方法: 観察、行動観察、ワークシート・テスト記述分析、作品、単元テスト、振り返りシート記述分析、ペーパーテスト、パフォーマンステスト

(3) 評価計画

① 年間の評価計画

令和3年度 外国語科年間指導・評価計画(6年)

板東小学校 第6学年 外国語年間指導・評価計画(1学期) ◎記録に残す評価 ○目標に合わせて評価を行うが記録に残す評価は行わない

Lesson	単元名 (時数)	単元目標 【知・技】 【思・判・表】 【態度】	主な 使用表現	評価(領域)																
				聞くこと	読むこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと	知・技	思・判	表	知・技	思・判	表	知・技	思・判	表			
1	We are friends. クラスの輪を広げよう。(2時間)	自己紹介に関する表現を理解し、好きなことやできることについて伝えることができる。 互いのことなどについて伝え合おうとする。	既習表現 Do you like ~? Yes, I do. No, I don't.																	
2	What time do you get up? 自分の一日を紹介しよう。(6時間)	生活の動静をよく知ってもらうために、自分の一日の生活について自分の考えや気持ちなどを伝えて話すことができる。 自分のことをよく知ってもらうために、自分の一日の生活について聞いたり自分の考えや気持ちなどを伝えて話したりしようとする。	What time do you ~?	◎	◎															
3	Where do you want to go? その国の魅力を伝えるために、行きたい国やおすそめ国について聞いたり、自分の考えや気持ちなどを伝えて伝え合ったりしようとする。(7時間)	行きたい国やその理由を表す表現を理解し、行きたい国やおすそめ国について聞いたり話したりすることができる。また、国を書き出すことができる。 その国の魅力を伝えるために、行きたい国やおすそめ国について聞いたり、自分の考えや気持ちなどを伝えて伝え合ったりしようとする。	Where do you want to go? I want to go to ~. Why? You can see ~.	◎	◎	◎	◎													
4	Welcome to Japan. スターキ発見ようこそ日本へ。(6時間)	日本の名所、自然、祭り等の言い方を理解し、日本についての話を聞いたり紹介したりすることができる。 ALT に日本のよさを伝えるために、自分の考えや気持ちなどを伝えて、日本のことを紹介しようとする。	Welcome to ~. We have ~. Please ~.	◎	◎	◎	◎													
5	I want to see the Milky Way. 短編に願いを書こう。(4時間)	夏の星座や七夕の物語を聞いて、夏休みになにしたいことを伝えるために、書いたことを伝え合ったり、書いたことをよく知るために、自分の考えや気持ちなどを伝えて、夏休みになにしたいことを伝え合ったり、書いたりしようとする。																		

指導計画と評価計画を併せて確認することができる

③ 学期末における評価 指導者による評価

ペーパーテスト(外国語科)

「聞くこと」「読むこと」
「書くこと」

- ・ 単元末
- ・ 学期末(年間2回)

〈音声〉
You can enjoy watching baseball games.
You can eat big hamburgers.
And you can see the Grand Canyon.
America is a nice country.

学期末テスト(6年)

③ 下の3人は、海外旅行に行きたいそうです。これから聞かえてくる旅行プランはだれのためのものでしょうか。A～Cのうち、一番ぴったり合う人を1人選び()に○をつけましょう。また、その人を選んだ理由を口に書きましょう。

Aさん () Bさん () Cさん ()

動物とふれあいたいわ、海で泳ぎたいわ。
本場のスポーツが見たいな、食べるのが大好きなんだ。
美術館めぐりがしたいわ、おいしい物を食べたい。

【聞くこと(思考・判断・表現)】の問題例

ペーパーテスト(外国語科)

【児童の振り返りより】

★思ったよりもよくできました。小文字のビーとディーがややこしくてわかりにくかったです。英語の時間にも、知っている英語をたくさん使いたかったです。

★パート4の問題が少しむずかしかったけど、コイン先生の声を最後まで聞いて答えたのでよかったです。コイン先生に鳴門のおいしい食べ物を知ってもらって、食べてもらいたいです。

★去年もこのテストをしたことがあるけど、前よりもよくできたと思います。書くこともだいたい慣れたけど、今度は手本なしでも単語が書けるくらいまでがんばってみたいと思いました。

③ 学期末における評価 指導者による評価

パフォーマンステスト(外国語科)

「話すこと(やり取り)」
「話すこと(発表)」

- ・ 学期末
- ・ ALTと1対1で行う
- ・ 観察による評価
- ・ ビデオ記録

③ 学期末における評価 指導者による評価

パフォーマンステスト(外国語科)

外国語科 評価規準(指導者) 単元 パフォーマンステスト(6年、6期)

評価項目
① 1学期前半の単元と2学期前半の単元(2学期前半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

評価
② 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

評価規準
評価項目(知識・技能) 評価規準(知識・技能) 評価項目(思考・判断・表現) 評価規準(思考・判断・表現) 評価項目(態度) 評価規準(態度)

① 外国語科の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

② 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

③ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

④ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑤ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑥ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑦ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑧ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑨ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑩ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑪ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑫ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑬ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑭ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑮ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑯ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑰ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑱ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑲ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

⑳ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉑ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉒ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉓ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉔ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉕ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉖ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉗ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉘ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉙ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉚ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉛ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉜ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉝ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉞ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㉟ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊱ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊲ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊳ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊴ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊵ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊶ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊷ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊸ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊹ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊺ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊻ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊼ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊽ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊾ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

㊿ 1学期後半の単元と2学期後半の単元(2学期後半)の学習到達状況を評価し、評価結果を指導者間で共有し、指導者による指導改善に活用する。

評価規準・評価基準を指導者が共有

名前	知識・技能	思考・判断・表現	態度
A	Do you have pet? I went to...	B ~ shopping.	A (2学期後半) 2学期後半
B	Birthdays I can do kendo.	B I have... I paid.	B 2学期後半
B	I like soccer and baseball. I ate ramen every day.	B I'm 2.2 meters tall.	B 2学期後半
B	毎朝の習慣(2学期後半)	B	B 2学期後半
A	毎朝の習慣(2学期後半)	B	B 2学期後半
A	毎朝の習慣(2学期後半)	A I like big History. I don't like fish.	A 2学期後半
B	毎朝の習慣(2学期後半)	B	B 2学期後半

担任による見取りの記録

③ 学期末における評価

児童による自己評価

6年1学期末 (R3.9月) パフォーマンステスト後の振り返りシート

ジョエル先生とのおしゃべりタイム 6年 2021.8.24

～自分のことを伝えたり、ジョエル先生のことを教えてもらって嬉しくて、仲よくなるよ～

6年

1	ジョエル先生と2人で話すのは楽しかった。	(とても)	まあ	あまり
2	ジョエル先生ともっと仲よくなるために、これまでで学ばないといけない英語を覚えて、話したり、質問したりすることができた。	(とても)	まあ	あまり
3	ジョエル先生の質問に答えたり、相づちや感想を返したりできた。	(とても)	まあ	あまり
4	何と書えればいいかわからないときがあっても、あきらめずに知っている英語を使って話そうとした。	(とても)	まあ	あまり

評価規準に沿った質問項目

自由記述による感想

ジョエル先生と話したりしているとだんだん楽しくなっていた。わからないところも、あきらめずにがんばって、言えたり、あきらめずにがんばった。しもんをかいたりしました。

3 取組の実際 ～豊かにかかわり 伝え合い 学び合う 学習の創造～

研究内容1 授業の創造

研究内容2 評価の創造



□ 授業設計

□ 教材・教具の工夫

指導と評価の一体化

□ 評価方法

□ 評価計画

学びの充実に向けた取組

- ・ 体験の場の設定
- ・ 低学年での取組
- ・ 小中連携
- ・ 校内環境の整備
- ・ 職員研修

学びの充実に向けた取組

《体験の場の設定》

全校集会「板東 Happy Time」



英語に慣れ親しむ

異文化への理解



全校集会
オンライン集会

学びの充実に向けた取組

《体験の場の設定》

板東 English Week



異学年、先生との交流

英語を使う機会



Bando English Week
～豊かにかかわり 伝え合い 学び合う 学習の創造～

◎異学年交流会しよう

I'm ~, Nice to meet you.
I like ~, Do you like ~?
I have ~, Do you have ~?

◎誕生日について話してみよう

My birthday is ~.
When is your birthday?

◎できごとを話してみよう

I can ~, I can't ~.
Can you ~?

Let's enjoy summer vacation!

What's new? Do you like ~?
What's new? Do you like ~?

Hello!
How are you?

学びの充実に向けた取組 《体験の場の設定》

「板東 English Master」



校長先生から
各教室で
メダルの贈呈

廊下に掲示された
「English Master」
の子どもたち



学びの充実に向けた取組 ～豊かにかかわり 伝え合い 学び合う 学習の創造～

国際交流集会



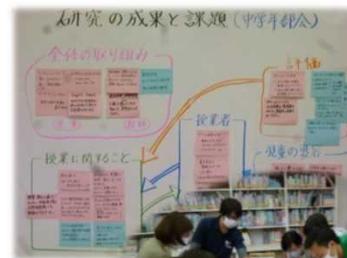
小中連携

低学年での取組



4 成果と課題

4 成果と課題

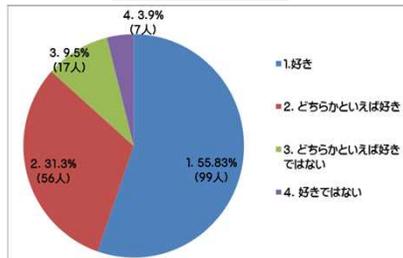


(I) 成果 【令和3年度 児童に対する意識調査の結果より

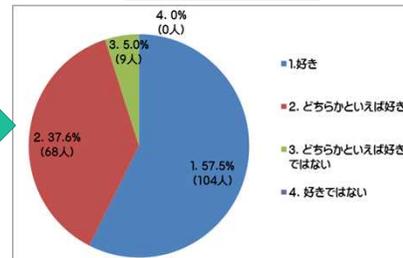
◇ 外国語活動・外国語は好きですか。

(3~6年生 181名)】

第1回(5月)

肯定的な回答 **87.1%**

第2回(10月)

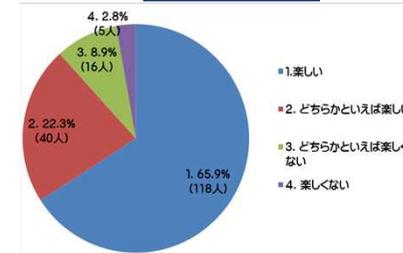
肯定的な回答 **95.1%**

(I) 成果 【令和3年度 児童に対する意識調査の結果より

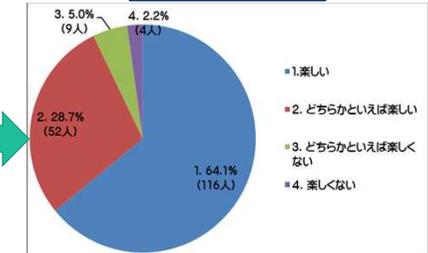
◇ ペアやグループなど、友達といっしょに活動することは楽しいですか。

(3~6年生 181名)】

第1回(5月)

肯定的な回答 **88.2%**

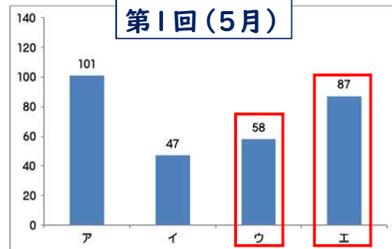
第2回(10月)

肯定的な回答 **92.8%**

(I) 成果 【令和3年度 児童に対する意識調査の結果より

◇ 友達といっしょに活動することが楽しい理由 (3~6年生 181名)】

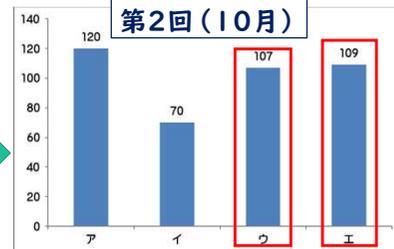
第1回(5月)



友達から学ぶことがあるから

ア. 友だちのことで、新しい発見があるから
 イ. 自分のことを聞いてもらえるから
 ウ. 友だちから学ぶことがあるから
 エ. 友だちともっとなかよくなれるから

第2回(10月)



友達ともっと仲よくなれるから

(I) 成果

① 児童が豊かにかかわり、伝え合い、学び合う授業を行うことで、主体的に英語を用いて、コミュニケーションを図り、共に学び、共に伸びる児童の姿へとつながった。

② 児童による自己評価・相互評価の場面を計画的に設定することで、自らの学びを振り返る力が伸び、自立的な学習者としての成長が見られた。

(1) 成果

③ 指導と一体化した評価を意識し、評価場面や方法を改善することで、指導者自身の授業設計力、評価力が向上し、個の学びへの適切な支援を行うことができるようになった。

④ 地域の教育資源の活用や鳴門教育大学等との連携により、児童の興味・関心を高めたり、専門性を生かした学習や評価を実践したりすることができた。

(2) 今後の課題

① 思考力、判断力、表現力を高めるための言語活動のさらなる充実

② 授業や評価におけるICTの有効な活用方法

③ 妥当性・公平性・信頼性を目指したよりよい評価の在り方